

東京ポートシティ竹芝 電気工事について

催事で施設の分電盤から電気工事を行う際には
必ずイベント分電盤申請書と電気図面の提出を行ってください。

ポートホールには**ステージ下手電灯分電盤**と**ステージ後方分電盤**が、
屋外のプラザには**プラザイベント盤**があります。

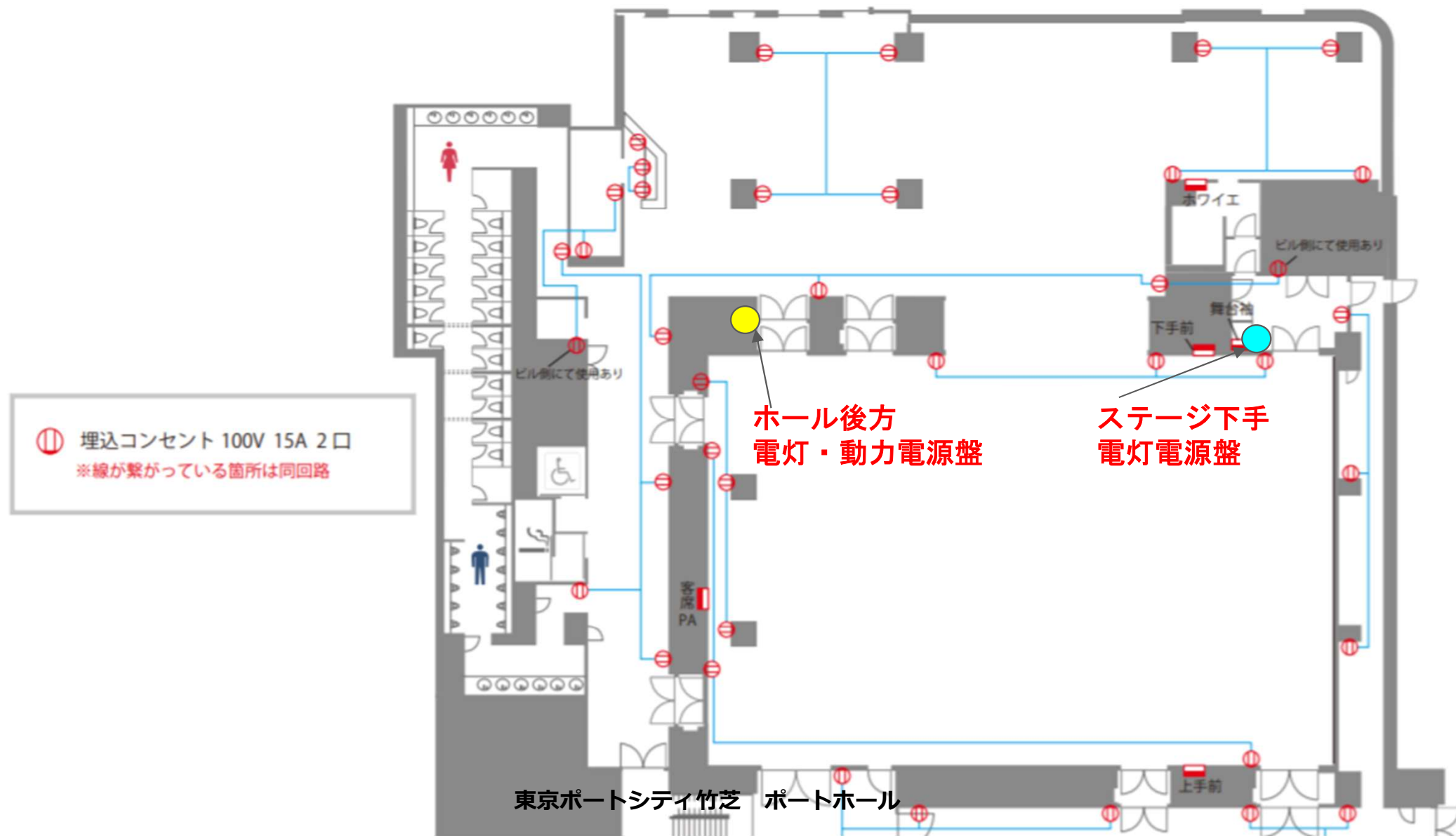
壁コンセントのみの使用の場合、申請書と電気図面の提出は不要です。

会場は漏洩電流を15mA以上検知しますと警報が鳴動します。
漏電がある機械等をご使用の場合は予め対策をお願い致します。

電気図面にはコンセントの位置、使用用途、配線経路を必ずご記入ください。

壁コンセントに関して

壁コンセントを使用になる際は、負荷を1回路あたり15A以下でご使用ください。
ケーブルはVVF1.6mm以上のケーブルを使用し、正しく接続を行ってください。
来場者動線をケーブルが横断する際は必ず養生をし、ケーブルに損傷が無いようにしてください。
図面の提出は不要です。



ステージ下手電灯電源盤 ご利用の注意

- ・電気申請書と負荷容量の記載した電気図面を提出してください。
- ・電気工事士の免許をお持ちの方が必ず作業を行ってください。
- ・最初の通電操作は電気工事指定業者立会いの下で行います。

【主幹端子台3P225Aを使用したい場合】

- ・事前にイベント分電盤申請書と電気図面をご提出ください。
- ・持ち込まれるブレーカーは漏電ブレーカーをご使用ください。

【2P20Aブレーカーを使用したい場合】

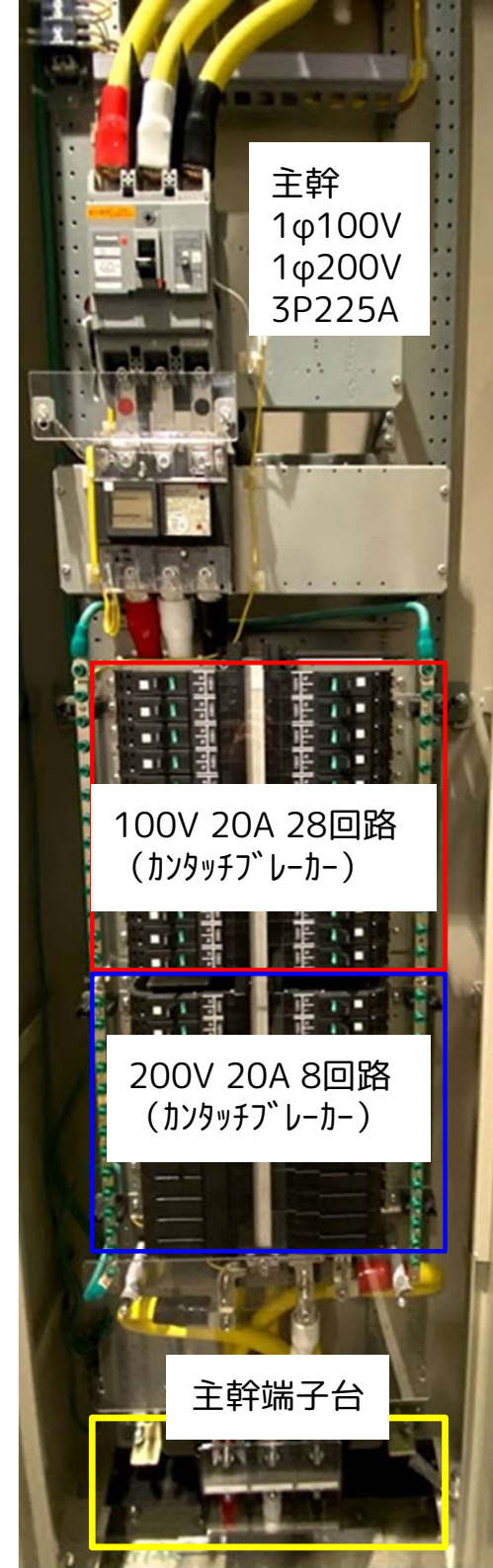
- ・2P20Aのブレーカーの2次側にVVF1.6mm以上のケーブルを接続して工事をしてください。

※別頁のコンタクトブレーカーの注意点をご覧ください

- ・負荷容量のバランスを考慮して接続してください。



端子台の作業スペースがとても狭い為
ケーブルは単芯か柔らかいケーブルの
ご使用をお勧めいたします。
端子台の裏側にホール内に通じるねずみ孔が
あります。
通電後の作業には十分ご注意ください。



ホール後方電灯・動力電源盤 ご利用の注意

- ・電気工事士の免許をお持ちの方が必ず作業を行ってください。
- ・最初の通電操作は電気工事指定業者立会いの下で行います。

【主幹端子台電灯・動力3P100Aを使用したい場合】

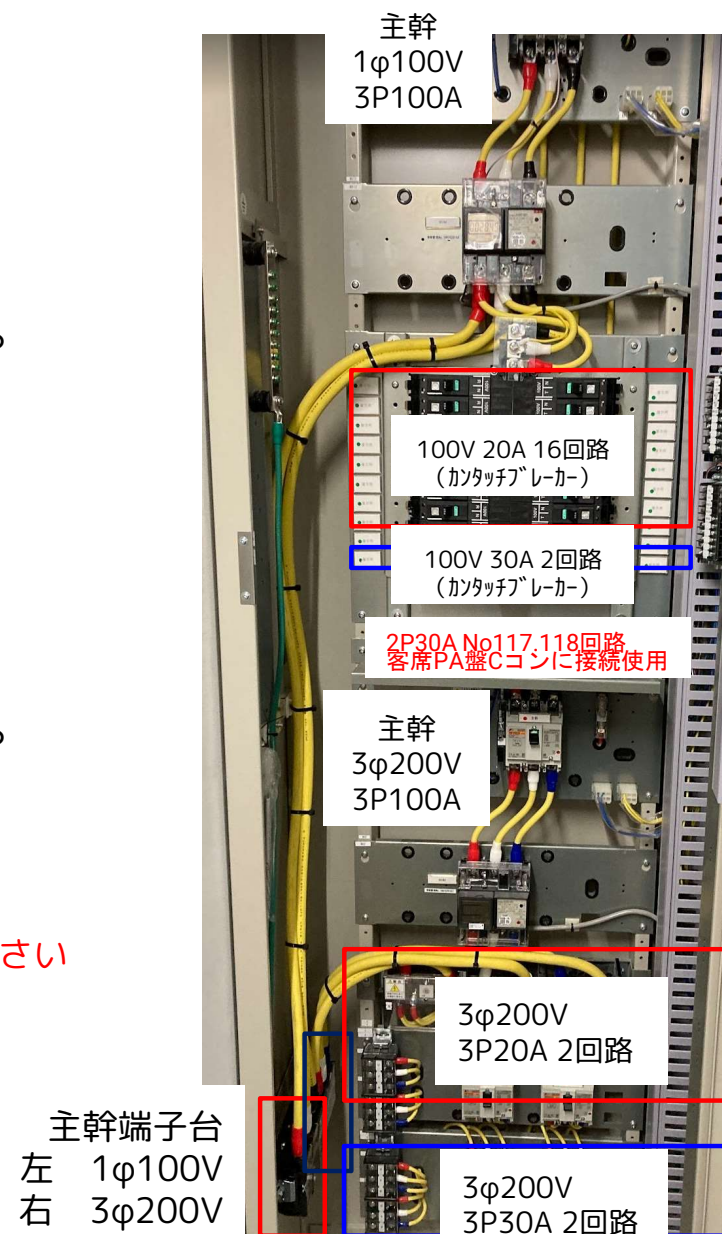
- ・事前にイベント分電盤申請書と電気図面をご提出ください。
- ・電灯の主幹ブレーカーを操作する際は後方の客席PA電源を使用しているかの確認をしてから操作をお願い致します。
- ・持ち込まれるブレーカーは漏電ブレーカーをご使用ください。

【電灯2P20A、2P30Aブレーカーを使用したい場合】

- ・使用したいブレーカーの2次側に適したケーブルを接続してください。 ※別頁のコンタクトブレーカーの注意点をご覧ください
- ・負荷容量のバランスを考慮して接続してください。

【動力3P20A、3P30Aブレーカーを使用したい場合】

- ・使用したいブレーカーの2次側に適したケーブルを接続してください。

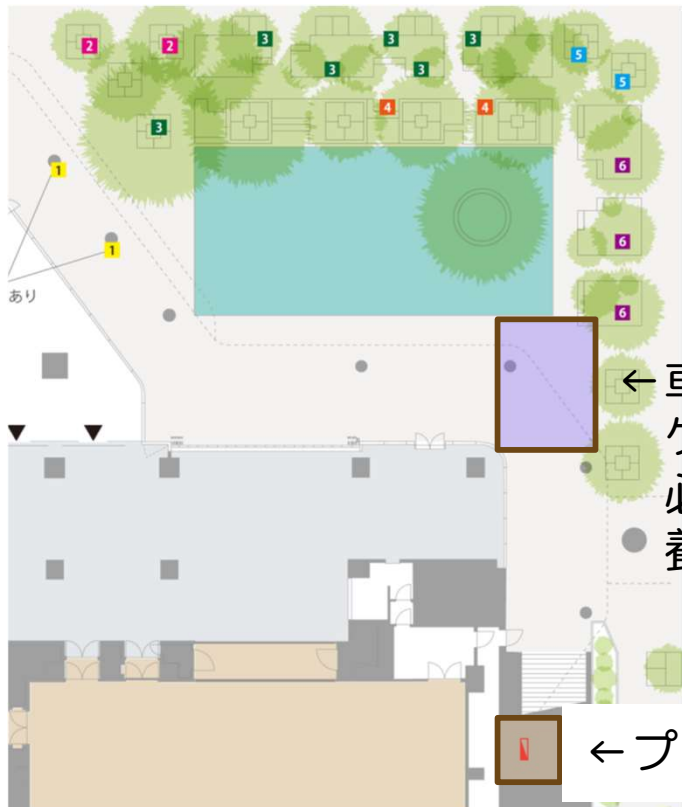


プラザ電源盤ご利用の注意

- ・電気工事士の免許をお持ちの方が必ず作業を行ってください。
- ・最初の通電操作は電気工事指定業者立会いの下で行います。

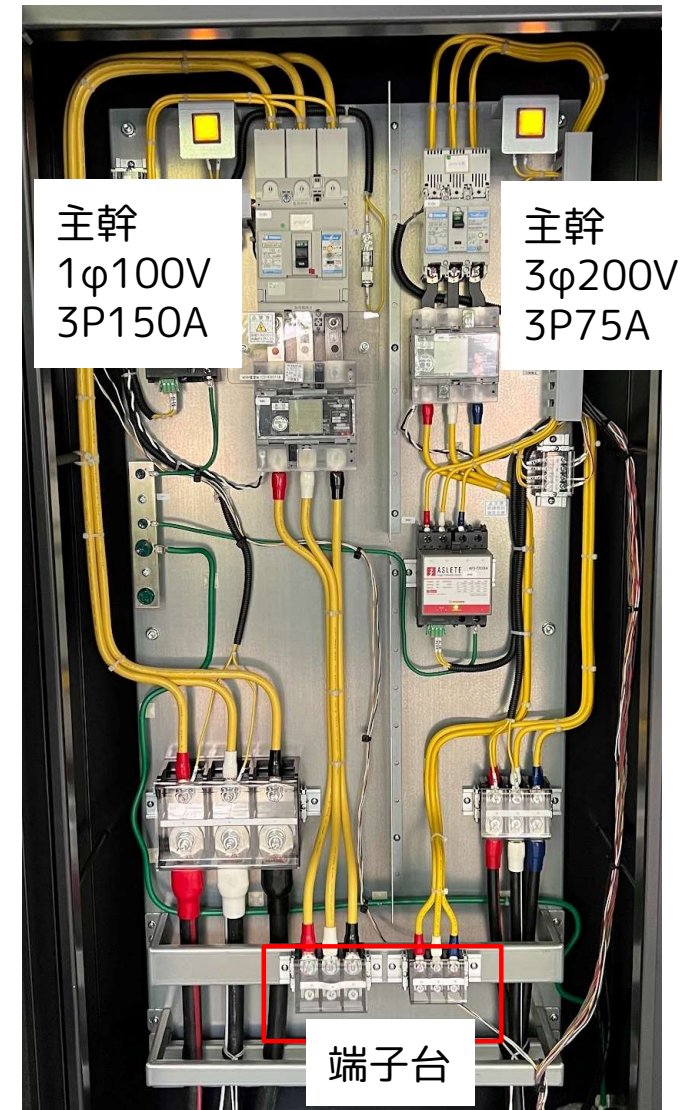
【主幹電灯3P150A・動力3P75Aを使用したい場合】

- ・事前にイベント分電盤申請書と電気図面をご提出ください。
- ・持ち込まれるブレーカーは漏電ブレーカーをご使用ください。

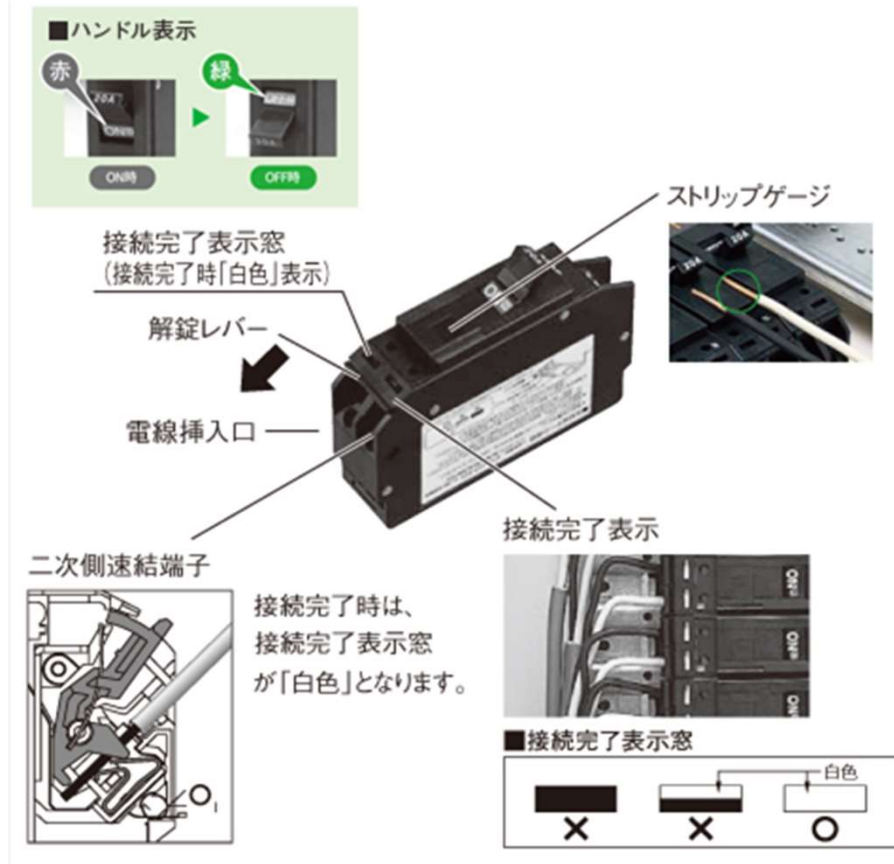


← 車両や人の往来があるため
ケーブルを横断する場合
必ずケーブルプロテクタで
養生をしてください。

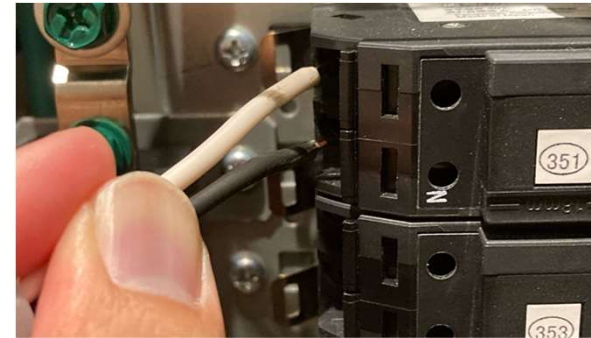
← プラザ電源盤



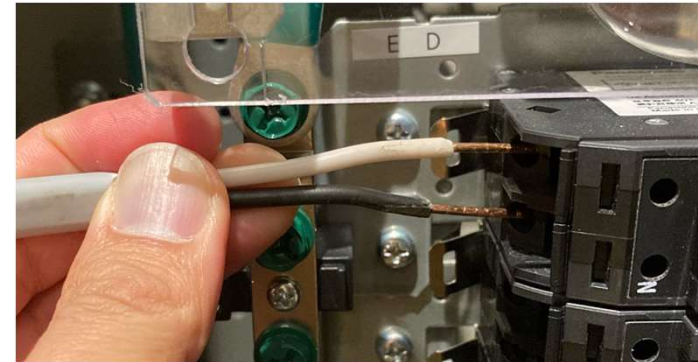
カンタッチブレーカー注意点



イベント分電盤の分岐ブレーカーはカンタッチブレーカーとなっており、2次側はφ1.6、φ2.0、φ2.6の**単線の銅線専用**となっております。
お持ち込みのケーブルが撚り線の場合、棒圧着端子をケーブルに圧着してブレーカーに接続してください。
2.0mm²の撚り線の場合は、棒圧着端子（BB9924）
3.5mm²、5.5mm²の撚り線の場合は、棒圧着端子（BB9921）
8mm²の撚り線の場合は、棒圧着端子（BB9922）
撚り線をそのままブレーカーに接続する事はしないでください。



上記の様に斜めに差し込んでください。



真横に挿そうとすると奥まで入りません。



しっかり挿さると白くなります。